

短歌

六十歳と一の差ある孫と我酪農の夢察がりて嬉しき
湯あがり一人眺める湯畑の演歌の女になりきってみる
見覚えの見慣れた景色何処やら通行止め解除になりて

本郷 本田博子
本郷 山田志津子
京町 木村百合子

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十四号」から抜粋



Vol.243

厚高インフォメーション Atsuma High school Information



学校の取り組みをご覧ください。
厚真高校ホームページ
<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/>

■三送会
3年生を送る会(三送会)を行います。生徒会企画を全校生徒で楽しみ、3年生への手紙、3年間のスライドショーなどで、3年生を送り出しました。
■3年生就職準備セミナー▽1月31日
就職内定した3年生による就職活動の発表です。1・2年生にとって進路活動・決定に向けた有意義な機会となりました。

▽1月24日
■スターフェスタ・ランタン祭り
今年は暖冬の影響でバケツの水が凍らず、ランタン制作に大変苦慮しましたが、当日にはどうにか間に合わせる事ができました。厚高の作品は、干支の「ねずみ」でした。
▽2月1日
■2年生就職ガイダンス
大原出版社の菊池静香さんを講師にお招きし、社会人として求められる基礎力養成に取り組みました。講義では、就職活動の流れ、求人票の見方、面接時のマナーなど、就職活動に向けたスタートを切る活動となりました。
▽2月10日
■農林漁業出前講座
第一次産業である農林漁業について、理解を深め、その仕事内容や魅力を知り、進路活動の一助となる機会となりました。本校から林業関連会社へ就職する生徒もいるなど、職業選択の可能性を高めることになっています。
▽2月14日
■出願状況発表
高校入試の出願状況が発表になりました。3年ぶりに、1.0倍に達しました。合格発表は3月17日(火)10時です。

町民の活躍

JFA第25回全日本U-15フットサル選手権大会北海道代表決定戦
12月7日～8日(北海道立野幌総合運動公園総合体育館)

成績：準優勝(1月11日～13日に三重県で開催されたJFA第25回全日本U-15フットサル選手権大会へ出場)

チーム名：ASC北海道U-15
藏重 快くん(厚真中3年)、大山 樹くん(厚南中3年)が参加

●大会やコンクールなどの結果について情報をお寄せください。
教育委員会 生涯学習課 社会教育グループ ☎27-2495 (毎月15日まで)



町長へ全国大会の結果を報告した藏重くん

発表します!! 将来の夢&目標

厚真中央小学校6年



みやぞえ さくら 宮副 咲良さん



むかえ なおこ 向江 菜緒子さん



もり かのん 森 華音さん

厚真町地域おこし協力隊

3年間の任期を振り返り

3月末で任期を終える2人の地域おこし協力隊に、任期中の振り返りと、これからの抱負を語っていただきました。



起業型地域おこし協力隊

さとう みのる 佐藤 稔さん (40歳)

着任 平成29年4月

出身地 神奈川県鎌倉市

厚真に移住してから、ワーゲンバスを使用したキャンプサービスや各種輸出入業務、厚真の食材を飲食店や小売店に販売する卸業を営んできました。震災後は復興フェアなどで地元商品の引き合いが多くなり、卸やイベント出店の仕事が増えて、現在も道庁の被災3町の商品販売促進プロジェクトの一部を請け負っています。
震災の影響で業務ができない時期もありましたが、周りの方々に助けて頂きながら何とか今日まで続ける事ができました。

これまでは個人事業主として活動していましたが、3月1日から合同会社を設立し法人営業をスタートしました。今後も厚真や周辺地域の食材を各地へ広めていく仕事を継続していきたいです。
また、キャンピングカーを扱うレンタカー事業を今年中に立ち上げるのが目標です。事業としてしっかりと利益を出すことはもちろんですが、災害発生時に避難所への協力ができればと考えています。自分自身が避難生活を体験して、プライバシーの

無さに苦労しました。もし避難所に家族だけで過ごせる空間があり、交代でも使用できれば被災者の心労も少しは和らぐのではないかと思っています。
移住した時から厚真町の皆さんの方々に親切にして頂きましたし、震災時も多くの方々に助けて頂きました。避難所や仮設住宅不自由な生活をしていても子どもたちが「厚真にずっと居たい」と言っているのは皆さんのおかげです。これかもよろしくお願ひします。



起業型地域おこし協力隊

にし の まさとし 西 将世さん (39歳)

着任 平成29年4月

出身地 恵庭市

家族で厚真に移住して、ばん馬1頭と共に暮らし始めて3年がたちました。
これまでの主な活動内容としては、小規模な林業現場で間伐した木の集材を馬が行うというもので、町内から近隣市町村を中心に、道内各地、河畔林や離島などにも行きました。その他、教育分野ではこども園や小学校など子どもたちが活動する森林での森林整備や危険木の除去作業などを行い、その様子を子どもたちに見せたり、体験してもらったりしています。また、観

光分野では馬搬・馬耕体験プログラムや馬ソリ体験なども行うことができました。
おそらく40～50年前にほぼ無くなってしまった働く馬の仕事、今の時代でも必要とされる隙間を開拓できないかと手探り状態で始めました。やってみると、「馬が丸太を引いた跡が人が歩くのちよほど良い遊歩道になる」「広葉樹の間伐作業には向いているかも」「公園の風倒木の搬出にちょうど良い」などの反応を頂くことができました。まだまだ定着するには経

験や時間が必要だと思いますが、ある程度の手ごたえを感じることができました。
今後は、今ある活動をしっかりと継続していきたいながら、ワイナリーでの馬耕など新しい分野での働く馬の活躍の場を広げていきたいと思っています。
地域の皆さんにはさまざまな形で大変お世話になっております。そのおかげで何とかこの3年間続けることができました。そして、これからもご指導いただけたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひします。